

編集後記

「川上の100年史」の構想を抱いてから10年、具体的な編纂活動を始めてからでも既に2年が経過してしまっただ。

「旧川上小学校の卒業生が元気な内に旧川上地区の歴史を記録として残したい」という素朴な発想からの出発であったが、旧川上地区内にある6つの連合町内会（平戸平和台、平戸、東戸塚、川上、柏尾、舞岡）の会長に声を掛け、その想い、構想に賛意をいただくところから始め、各連合から選出した3人の編纂委員による委員会の立ち上げ、現地を見て回る事から始めた調査活動、そして具体的な資料集め、寄稿の依頼等々、思い出せば随分回り道もしてしまった。

やはり一番苦勞したのは、編纂委員全体の方向性を合せること、微妙なところで意見が合わず、心が折れそうになったことも何度かあった。委員会での激論(?)、不協和音、しかし最後の所で踏ん張れたのは先人たちの熱い想いと苦勞を知ったから、そして共にこの事業を完成しようと頑張る仲間がいたから……。

例の如く、編纂委員会とは別に編集のための別働部隊を結成し、長時間の論議と検証作業、そして終わった後のアルコールを飲み交わしながらの歓談、そしてまた果てしない論議……。

しかしこうして何とかゴールらしきところにたどり着けたのは、一緒に頑張った仲間がいて、そしてこの記念誌を心待ちにしてくれる多くの地域の方々がおられたからに他ならない。

明治・大正・昭和、そしてこの平成も31年で新たな年号の時代へ、更に昭和14年にスタートした戸塚区の「区制80周年」の記念すべき年に記念誌が完成する「偶然」の取り合わせの妙！

今回、一応の区切りとして記念誌の発行にまではたどり着きましたが、基より完全な物には程遠く、これからも幾多の調査・検証・更新が必要であることは論を待ちません。

編纂した立場からは、「多くの地域の皆さんに是非この記念誌を読んで戴きたい」と願うばかりであります。

また、この記念誌を作成するに当たり、地域の多くの皆様から数々の大切な資料や情報の提供をいただき、また区役所を始め関係行政機関の皆様からも多大な支援をいただきましたことを、誌面をお借りして心より御礼申し上げます。

先人たちの苦勞と熱き想いを知り、新たな世代に「川上の心」を伝えたい！

この2年間の苦しい編纂作業を乗り越えた私たちは、新たな仲間達との強固な絆の上に、この地域の新たな発展が生れることを確信しています。

ありがとうございました。

2019年3月

「川上の100年史」編纂委員会

川上の100年史

発行日：2019年3月 第2版

発行：「川上の100年史」編纂委員会

発行責任者：会長 常盤欣二

印刷：株式会社 プリントパック

表紙題字：杏苑書道教室 船井杏苑